

本市の水道は、昭和30年代から給水区域を拡張するに伴い、水需要が急増し、既設の白石系だけでは不足が生じ、新しい水源を利根川に求め、当



(執筆者)
鏡子市水道部 浄水課長
小鷲 勝夫氏

「新宿取水場の高度浄水処理について」

河口堰だより

地域を守る潮止堰

エニザームの声

発行所
独立行政法人水資源機構
利根川河口堰管理所
TEL 0478-86-0477

家庭雑排水、畜産排泄物、事業場排水等の汚濁を受

は、塩素イオン濃度の他にも注水する利根川の水が下流域で上流の各種排水等の影響を受けていることや黒部川流域からの

時、建設計画のあった利根川河口堰からの水配分を受け、黒部川水門から約1km上流の黒部川右岸に新宿取水場を設け、昭和44年から取水を開始しました。

他、凝集剤等の浄水薬品が削減でき、排水処理も

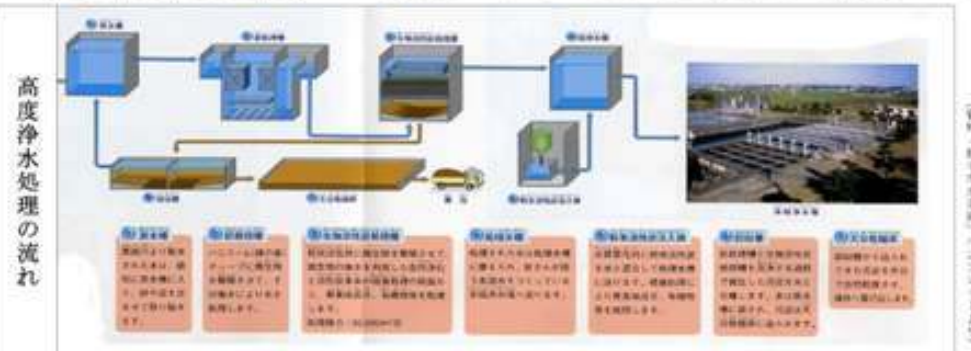
一般的に行われている沈殿やろ過処理後にオゾン処理・活性炭処理をする方法とは違い、原水について、微生物の働きによる自然浄化の生物処理と活性炭本来の吸着処理ができる生物活性炭処理を

これらの対策としては、中間塩素処理や粉末活性炭処理で対応してきましたが、厳しくなる一方の水質基準を維持し、利用者のニーズに応え、安全で良質な水を供給するため、平成13年度から15年度の3カ年の継続事業で高度浄水処理の導入を図り、平成16年4月から供用を開始しました。

改善できる特徴があります。

この方法は、北九州市が平成12年に日本で初めて採用し、平成15年には2ヶ所目の浄水場にも採用し順調に稼働していると聞いておりますが、本市は、その次の採用になるかと思っております。

水道事業としては、水道水の水質について、利用者の信頼を回復するために、高度浄水処理をするのも一つの方法ですが、何よりも水道水の元になる原水の水質が良質である事が一番であり、黒部川及び黒部川へ注水する利根川下流の水質改善を強く望むものであります。



河口堰の四季

利根川でサケ漁が行われていたって本当？

サケは、川で生まれ、腹に卵をつけているおよそ60日間は砂の中に潜んで暮らし、卵が消えると水中の昆虫などをエサとして暮らしま



今年度の定点調査により確認されたサケの稚魚

す。その後、群れをなして海に下り、オホシツク海、ベーリング海などで育ちます。3年から5年で、産卵のために再び生まれた川をのぼり、産卵後は死んでしまいます。

太平洋沿岸では、利根川が産卵のために通ってくる南限と言われている、江戸時代に著された「利根川図志」という本に、利根川でサ



江戸時代の利根川でのサケ漁を記録したと言われる絵

このサケ漁は大正時代頃まで行われていたようですが、今では残念ながら見られなくなりました。

では、利根川からサケはいなくなったのかというと、そうではありません。

上流域でこれまで実施されてきたサケの稚魚の放流のお陰もあってか、利根川河口堰で平成14年度より毎年4月から6月にかけて実施している魚類の春季調査において、海に下るサケの稚魚が確認されています。また、秋になると利根川中流域に位置する利根大堰でサケが産卵のために遡上している姿が確認されており、平成15年には約1500匹に達したとのことです。

河口堰文庫

利根川河口堰管理所内の展示ホールに、8月より新たに「河口堰文庫」を設けました。主には小学生向けの川や天気、環境、インターネットに至るまで様々なジャンルの本を100冊ほど準備致しました。小学生を対象として考えておりますが、大人の方が読まれてもためになる内容ですので、お立ち寄りの際にはご自由にご覧下さい。図書は随時増やしていく予定です。



展示ホール内の河口堰文庫

編集後記

今年の夏は過去に例のない程の記録的な猛暑でかつ少雨の夏でありましたが、皆様には安心して水をお使い頂けるように、上流のダム群や利根川河口堰では適切な操作を行い、今年の夏を何とか乗り切ることができました。我々の仕事内容や適切な操作とは何かを広く理解して頂きたいと思いい、当管理所では毎年イベントを行っておりますので、来年も是非多くの方に来て頂きたいと思っております。

(編集担当者)

この広報誌に関するご意見・ご感想、並びに利根川河口堰へのご質問等は下記までお寄せ下さい。また、施設見学も受け付けています。広報担当、総務グループ 松本(まつもと)、井藤(いふじ)までご連絡ください。
〒289-0611
千葉県香取郡東庄町新宿2276番地
水資源機構 利根川河口堰管理所
TEL 0478-86-0477
FAX 0478-86-3457
E-mail: tonekako@topaz.ocn.ne.jp

利根川下流沿川紀行

利根川下流域の 河童伝説

古くから利根川下流域には河童の伝承が多く、河童を祀る祠や、河童にまつわる秘蔵品などもたくさん残っています。

銚子市の和田川には水神社があり、旧暦の12月1日にあんこを塗った餅をあげ、その餅が

無くなっていくと河童の神様が願いを聞いてくれたと言われてきました。

また、「川びたりの餅」と言われる行事も旧和田川や対岸の波崎町で行われてきました。川びたりとは旧暦の12月1日のことで、この日に河童の神にあげるため、小さく押しつぶした餅にあんこを塗り、半紙に包んで利根川に投げ込むとともに、子供のお尻を利根川の水につけて水難のないことを河童様にお願いたそうです。

また、銚子には有名な河童伝説があります。昔、荒野（現、銚子市中央町）に大新河岸と呼ばれる船着場があり、船の積りや米などを高瀬船に積んで江戸まで運ぶ河岸として

た客人が河岸で遊んでいた河童の子をふざけて傘で叩きました。するとその夜、母河童が「何も悪いことをしてないのに、なんでいじめたのか」と問屋の番頭をとがめに来たそうです。河岸の人々は「河童は船を水から守つてくれるという。河童をいじめるのはよそう。」と戒めるようになったそうです。

その後大新河岸に河童公園ができて中に河童母子の銅像が設立され、ここで毎年「安全祈願」の式典が行われるようになりました。また近くには河童資料館も開設されています。

（利根川愛好会会長 林 敏夫）



母子河童像

平成15年12月発行の「河口堰だより第2号」でお知らせしましたように、本年度は、調節門9号のゲート開閉装置に付随するドラムギヤ（歯車）の整備を予定しています。

ドラムギヤは、上段扉用と下段扉用で2つあり、直径がいずれも約2mとサイズが大きく、重量も4t強というようにかなり重いことから、機械室からドラムギヤを搬出・搬入する際には安全対策上からも利根川大橋を全面交通止めにはせざるを得ません。

現時点での全面通行止め予定日は、平成16年11月23日から29日までのうちの1日と、平成17年1月21日から27日までのうちの1日の

利根川大橋全面通行止め （第二報）

計2日間を予定しています。

また、全面通行止めをする時間帯は、通行への影響が最も少ない午前0時から午前5時30分までの5時間半を予定しています。

本工事に伴う交通規制に関する情報につきましては、今後も周知看板の設置やピラ配布等により速やかに提供していく所存ですので、ご理解とご協力のほど宜しくお願い致します。



イベント案内

8月8日（日曜日）午前9時半から午後4時まで利根川河口堰管理所において、「水の週間イベント」を開催しました。本イベントは今年で2回目ですが、当日は猛暑にかかわらず昨年のおよそ1.5倍の約180人の方が訪れ、大いに賑わいました。

去年好評だった降雨量体験コーナー、船上観見学、操作室見学、水質検査体験教室等に加えて、今年は「ザリガニ釣り」、「シャボン玉を飛ばそう」、「魚クイズ」など、子どもの遊び心をくすぐる催しもあり、多くの親子から「河口堰のことが良く判ったし、楽しかった。」との感想

が寄せられたほか、地元新聞紙にも取り上げられるなど好評を博しました。

利根川河口堰では、このようなイベントを通して、水の大切さ、利根川河口堰の役割等について今後もPRしていく予定です。宜しくお願いします。

また下記に、当日訪れて頂いた皆様にご覧頂いた「満足度調査に関するアンケート」の結果を発表します。やはり実際に体を動かしたり、体験できるコーナーの人氣が高かったようです。アンケートにご協力頂いた皆様、本当にありがとうございます。



子供達に人気の水風船で遊べるコーナー



船から河口堰が見れる年に一度のチャンス

H16水の週間イベント 満足度調査に関するアンケート結果

内 容	楽しかった	普通	つまらない	記入なし	合計
① 降雨量体験	96	26	3	8	133
② 乗船体験	101	4	0	28	133
③ 操作室見学	74	28	2	29	133
④ 水質検査	73	21	2	37	133
⑤ ザリガニ釣り	53	32	19	29	133
⑥ シャボン玉	97	12	3	21	133
⑦ 水風船	66	27	5	35	133
⑧ 魚クイズ	88	15	4	26	133
⑨ 水鉄砲	73	18	11	31	133
⑩ パネル展示	50	34	5	44	133
合 計	771	217	54	288	